

令和4年(2022年) 1月28日(金) 13811号



株式会社日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配送料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は2万円引き上げの119万円

1月の月内建値平均は117万9,400円

JX金属は27日、電気銅建値を2万円引き上げの119万円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は117万9,400円。

27日に入電した直近のLME銅相場前場売値が9,965.00ドル。27日の東京市場の米ドルTTSレートは115.64円。この値で換算した採算価格は、115万2,300円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万7,700円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2021年

8月...1110(2) 1090(4) 1080(10) 1090(13) 1060(18) 1030(20)
 1060(24) 1070(27) 平均1074.7

9月...1100(1) 1080(3) 1070(9) 1110(16) 1080(15) 1030(21)
 1080(27) 平均1078.9

10月...1040(1) 1070(5) 1100(11) 1120(13) 1200(15) 1340(19)
 1250(20) 1190(22) 平均1153.1

11月...1170(1) 1150(5) 1170(9) 1150(11) 1170(15) 1150(17)
 1180(24) 平均1165.2

12月...1130(1) 1120(6) 1140(9) 1120(14) 1140(22) 平均1128.3

2022年

1月...1180(4) 1160(7) 1200(13) 1170(17) 1200(21) 1170(25)
 1190(27) 平均1179.4



黄銅削粉買値は8円 引き上げの860円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は27日、黄銅削粉買値を8円引き上げの852円と発表した。今月7回目の改定。

伸銅品生産 2021年動向速報

2018年以来の高水準

4年ぶりの前年比プラス

日本伸銅協会

一般社団法人日本伸銅協会(石田徳和会長)はこのほど、2021年暦年の伸銅品生産の速報をまとめ発表した。生産量は776,100トン、対前年比は20.5%の伸びとなった。4年ぶりの対前年比プラス、暦年としては2018年以来の高水準で、全品種がプラス。自動車や半導体がけん引した。前々年2019年比では+3.1%。主要品種ごとは次の通り。

伸び率は、リーマンショックから回復後の2010年32.5%以来の大きさ。コロナ禍や半導体不足により自動車は減産が目立ったが、生産回復を見越したメーカーの在庫積み増しが進み、需要は堅調となった。品種別速報は次の通り。

銅条: 278,914トン、対前年比+24.7%。3年ぶりのプラスで、2007年を上回り、過去最高となった。

黄銅条: 101,024トン、同+29.6%。3年ぶりのプラス。
 青銅板条: 30,437トン、同+22.2%。2年連続のプラス。
 銅管: 96,349トン、同+6.0%。4年ぶりのプラス。
 黄銅棒: 180,065トン、同+19.8%。4年ぶりのプラス。

伸銅品生産・出荷動向12月速報

前年比12か月連続プラス

2018年以来の高水準

日本伸銅協会は同時に、伸銅品生産・出荷動向の12月速報も発表した。12月度の生産量は62,640トン、対前年比+7.2%で、12か月連続の対前年比プラスとなった(対前々年比は+4.7%)。12月対比では、2018年の65,540t以来、また12月としては18年以上の6万トン超えの高水準となっている。

自動車と半導体の好調はさらに継続し、住宅設備機器需要は回復基調が続くが、一部部材調達難による減産が見られる。(2面へ続く)

エアコン需要に大きな変化はないが、部材調達難による減産が続いている。全14種中13品種が対前年比で増加。マイナスとなった青銅板条の水準は、回復期の前年並み。主要品種の動向は次の通り。

銅条：22,978トンで、15か月連続対前年比プラスの+9.8%（対前々年比+18.8%）。12月対比では、2006年12月の23,211トンに次ぐ過去第2位となっている。

車載やデジタル家電を中心に半導体、車載端子・コネクタは高位。自動車ラインは挽回生産に移行しており、今後の需要増を見越した部品需要は高水準に。2019年度レベルを2桁上回っている。

黄銅条：8,273トン、14か月連続同プラスの+8.2%（同+12.3%）。12月対比では2018年の8,782トン以来の高水準となっている。

減摩合金・各種ハンダ 鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22
TEL 06-6561-3759(代表)

溶融亜鉛めっき 12月生産

前年同月比 2か月連続プラスに

日本溶融亜鉛鍍金協会

一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会（菊川美仁理事長）はこのほど、溶融亜鉛めっき生産の12月実績を発表した。全体合計は、前年12月の88,227トンを上回る92,014トン（以下トン）で4.3%増。うち構造物合計も昨年12月の86,672を4.2%上回り、90,331となった。前年同月比は、全体合計、構造物合計とも11月から2か月連続でプラスとなっている。

15種別で前年12月に比べ増加したのは、鋼管、建築材、駐車場、仮設器材、継手、ファスナー、造船、合金めっき、「その他」の9種で、11月と同数。同じく減少したのは、一般鋼材、道路、グレーチング、電力・通信、鉄道、鉄筋だった。

種類別では、鋼管は1,683（前年12月1,555）。構造物の種別は次の通り。一般鋼材3,491（3,784）▽道路10,914（12,088）▽グレーチング3,127（3,257）▽建

自動車は銅条と同様の状況。巣ごもり・テレワーク需要の高水準に変化は見られない。デジタル家電の一部で、半導体など部品不足による減産が聞かれる。2019年度を2桁上回っている。

青銅板条：2,403トン、10か月ぶりに同マイナスの▲3.8%（同+17.2%）。前年12月の急回復期と同水準。スマートフォン関連は好調を維持し、リモート・巣ごもり需要も高水準に変化はない。2019年度レベルを2桁上回っている。

銅管：7,141トン、9か月連続同プラスの+0.7%（同▲18.8%）。12月対比では2019年の8,795トン以来の水準。

ルームエアコンの12月出荷は前年比▲13%（2019年比は▲5%）。半導体不足など部材調達難が続くなか、オフシーズンも重なりエアコン減産が続いている。パッケージエアコンの12月出荷は前年比+6%。2019年度レベルを下回っている。

黄銅棒：14,545トン、11か月連続同プラスの+7.6%（同+2.4%）。12月対比では2018年の15,137トン以来の高い水準。

住宅設備関連向けの国内需要は引き続き緩やかな回復傾向。ガス機器は需要期。水栓金具はタッチレス水栓が好調なのに加え、リフォーム向けが上向いている。バルブ分野、自動車も好調だが、一部住宅設備業界での部品・部材調達難起因の減産が続いている。2019年度をやや上回っている。

○11月出荷

出荷量は66,602トン、対前年同月比は+11.5%で、12か月連続の同プラスとなった。ガス機器、金属製品その他を除くすべての分野が対前年比プラス。内需向けは12か月連続前年比プラスの+10.5%。輸出向けは13か月連続同プラスの+16.4%となった。

築材34,012（33,744）▽駐車場3,816（3,280）▽仮設機材8,352（5,526）▽電力・通信7,685（7,870）▽鉄道742（1,014）▽継手338（275）▽ファスナー3,067（2,942）▽造船3,785（3,527）▽鉄筋85（122）▽合金めっき797（489）▽その他10,120（8,754）

東邦亜鉛 プライム市場を申請

東邦亜鉛株式会社（丸崎公康社長）はこのほど、東京証券取引所の新市場区分について、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認し、申請を行うと発表した。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田 商店

代表取締役 原田 靖 章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

蓄電池サステナビリティ研究会

立ち上げ

経済産業省

経済産業省はこのほど、サステナブルな蓄電池サプライチェーンの構築を検討するため「蓄電池のサステナビリティに関する研究会」を立ち上げ、初会合を開いた。夏ごろをめどに検討内容をまとめるという。

急激な需要拡大が見込まれる蓄電池は、自動車の電動化や再生可能エネルギーの普及に必要となり、カーボンフリー化やデジタル化の要といえる新たなエネルギー基盤。

しかし、製造や廃棄過程でGHGを排出し、またリチウムをはじめとする高品質の資源を大量に使用するため、環境問題や社会問題への対応など、サプライチェーン全体でサステナビリティ向上の取り組みが求められている。

このため同研究会を開催し、①蓄電池のライフサイクルでのGHG排出量の見える化、②蓄電池のリユース・リサイクルの促進、③材料の倫理的調達担保、④これらを実現するためのデータ流通といった論点について検討する。メンバーは次の通り(敬称略)。

【座長】 所千晴 = 早稲田大学理工学術院教授▽伊藤肇 = 一般社団法人日本自動車部品工業会技術部長▽岩崎裕典 = PwCアドバイザー合同会社エネルギーセクターディレクター▽菊地美徳 = 一般社団法人日本自動車工業会環境技術政策委員会電動車部会部会長▽玄地裕 = 国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門研究部門長▽森島龍太 = 一般社団法人電池サプライチェーン協議会業務執行理事▽中根育朗 = 一般社団法人電池工業会 事務局長▽福原あゆみ = 長島・大野・常松法律事務所弁護士



インドネシア：PTVI、鉱山地帯でEVの試験運用を開始

2022年1月19日付け現地メディアによると、PT Vale Indonesia (PTVI) は、二酸化炭素排出量削減取り組みの一環として、南Sulawesi州Sorowakoの鉱山地区で電気自動車 (EV) の試験運用を開始した。

PTVIは、同日、同社のエネルギー部門の運営を支援するためのEV試験走行の第1段階は、2022年3月まで続くとして述べた。次のフェーズでは、従業員の移動にEVを使用し、2022年9月まで継続される予定である。また、同社は、Sorowakoに充電ステーションを設置した。

Valeは、2030年までに二酸化炭素排出量を33%削減することを目標に、さまざまなエネルギー転換の取り組みを行っている。

EVの導入に加え、ニッケル加工工程での燃料を石炭から液化天然ガス (LNG) に転換するほか、バイオマス利用も検討する予定である。

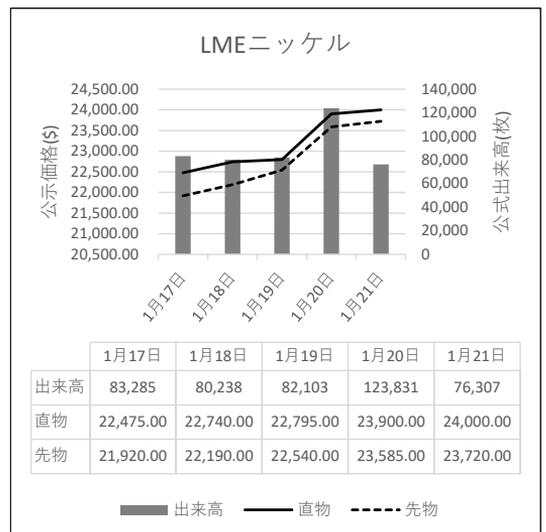
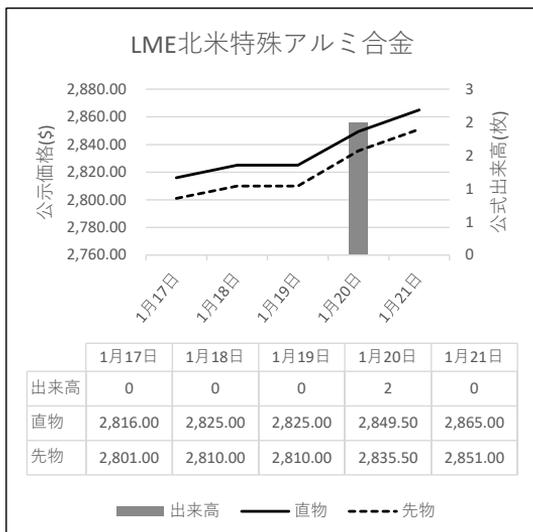


鉛滓・鉛管板屑

株式会社 国樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表
〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

LME公式値週間推移 1月17日~1月21日(現地)



故銅市況

27日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場、直物の前場売値が、前営業日の9,744.00ドルより221.00ドル高の9,965.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,835.75ドルより116.75ドル高の9,952.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,710.00ドルより216.50ドル高の9,926.50ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,801.00ドルより115.50ドル高の9,916.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場の3月限は、前営業日の445.00セントより6.50セント高の451.50セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場3月限は、前営業日の6万9,820元より910元高の7万0,100元。

27日の東京為替市場TTSレートは、前日の114.84円より0.80円の円安ドル高、1ドル=115.64円。27日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,965.00ドル。この値と27日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日115万7,000円より3万3,000円高の119万円。この日、電気銅建値は119万円に引き上げられた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

(1月27日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が918~923、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは883~888、並銅は848~858、込銅(高品位=約97%)は838、セバは685~690。コーペルは要り用筋で626、それ以外は611ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋636、それ以外606~616どころの値頃。並青銅鋳物削粉は742~747どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が898~918、上銅新くずが863~883、普通上銅が838~858、2号銅線が830~850、並銅が828~848、込銅(94-97%)が776、込銅(90-93%)が778、下銅が448~498、セバが650~685、コーペルが566~611、黄銅棒地が561~606、黄銅削粉が556~601、黄銅ラジが521~529、交叉ラジが484~541、黄銅銅鋳物が483~490、送りが267~286、上青銅鋳物が739~759、並青銅鋳物が719~734、上青銅鋳物削粉が734~754、並青銅鋳物削粉が709~729どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(1月後半)

2S=240円~255円、63S=224円~250円、アルミホイール(1P)=136円~245円、ビス付サッシ=142円~146円、エンジンコロ=155円~158円、込合金(機械鋳物)=153円~156円、缶プレス(ソフト)=126円~131円。

関西地区(1月後半)

2S=202円~205円、63S=205円~208円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=179円~183円、機械鋳物=126円~129円、ドライ粉=105円~108円、ビス付サッシ=113円~118円、缶プレス=113円~115円。

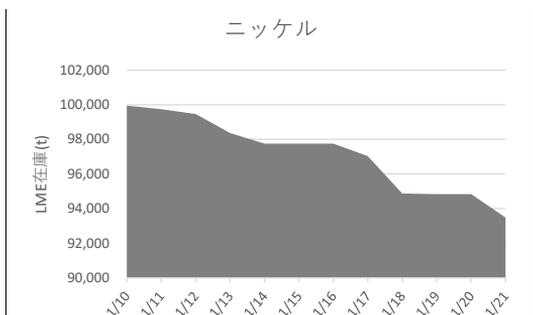
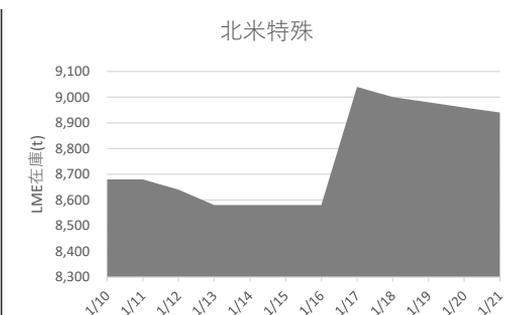
為替動向

26日、ロンドン外国為替市場の英ポンドは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0020ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.3500ドル~1.3510ドルだった。欧州の主要株価指数が好調で投資家がリスクを取り易くなったことで、ドル売りポンド買いが進んだ。ユーロも対ドルで上昇。同じく0.0010ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.1280ドル~1.1290ドルだった。ただ、ウクライナを巡るロシアと欧米は依然緊張状態にあり、この日の夜にFOMCの結果発表を控えるなか、積極的に買い持ち高を増やす動きは限定され上値は重かった。

26日のニューヨーク外国為替市場で円相場は反落した。前日と比べ0.80円の円安ドル高、1ドル=114.60円~114.70円だった。この日の午後、FRBが公表したFOMC後の声明は3月の利上げを示唆する内容だった。パウエル議長は記者会見で金融引き締めに向き姿勢を示し米国の長期金利は一時、前日と比べ0.11%高い1.88%まで上昇した。株相場が大きく上位し円売りドル買いに弾みがついた場面もあった。

27日早朝、東京外国為替市場の円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.71円の円安ドル高、1ドル=114.68円~114.69円だった。FOMC後の声明でFRBは3月利上げを示唆、米国の金融政策正常化が早期に進むとの観測が強まったことで米長期金利が上昇、金利差が拡大し円売りドル買いが優勢となった。円は対ユーロでも下落。同じく0.17円の円安ユーロ高、1ユーロ=128.86円~128.89円だった。

LME認定倉庫在庫量推移 1月10日~1月21日(現地)





LME銅相場は大幅に反発 直物終値は9,952.50ドル
 COMEX銅相場は続伸 SHFE銅相場は反発
 LME非鉄相場はほぼ全面高 ニッケル直物は約4%高



27日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月26日入電の9,744.00ドルより221.00ドル高の9,965.00ドル。3営業日ぶりの反発で2.27%高。この週0.05%の下落。1月に入って2.82%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の9,710.00ドルより216.50ドル高の9,926.50ドル。3営業日ぶりの反発で2.23%高。この週0.05%の上伸。1月に入って2.53%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地1月25日の9万6,675トンより3,425トン減の9万3,250トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月26日入電の444.30セントより6.15セント高の450.45セント。2営業日の続伸で2.31%高。この週0.18%の下落。1月に入って1.11%の上伸。2月限は、1月26日入電の444.55セントより6.20セント高の450.75セント。2営業日の続伸で2.28%高。この週0.23%の下落。1月に入って1.07%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、2月限が、1月26日入電の6万9,850元より340元高の7万0,190元。3営業日ぶりの反発で0.49%高。この週1.35%の下落。1月に入って0.36%の上伸。中心限月に当たる3月限は、1月26日入電の6万9,820元より280元高の7万0,100元。3営業日ぶりの反発で0.40%高。この週1.67%の下落。1月に入って0.03%の下落。

錫は反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の4万1,700.00ドルより1,100.00ドル高の4万2,800.00ドル。4営業日ぶりの反発で2.64%高。この週2.51%の下落。1月に入って7.99%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の4万1,300.00ドルより1,000.00ドル高の4万2,300.00ドル。4営業日ぶりの反発で2.42%高。この週2.76%の下落。1月に入って8.18%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地1月25日の2,165トンより30トン増の2,195トン。

鉛はまちまち

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の2,359.00ドルより7.00ドル高の2,366.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.30%高。この週1.15%の下落。1月に入って1.61%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2,350.00ドルより3.00ドル安の2,347.00ドル。3営業日の続落で1.51%安。この週1.51%の下落。1月に入って2.53%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地1月25日の5万3,675トンより75トン減の5万3,600トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の3,615.00ドルより30.00ドル高の3,645.00ドル。3営業日ぶりの反発で0.83%高。この週1.11%の下落。1月に入って0.41%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の3,591.00ドルより25.00ドル高の3,616.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.70%高。この週0.71%の下落。1月に入って2.18%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地1月25日の15万9,925トンより2,375トン減の15万7,550トン。

アルミは続伸 アルミ合金は反落 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の3,064.00ドルより29.00ドル高の3,093.00ドル。2営業日の続伸で1.59%高。この週0.44%の上伸。1月に入って10.23%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の3,061.00ドルより19.00ドル高の3,080.00ドル。2営業日の続伸で1.62%高。この週0.62%の上伸。1月に入って9.61%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地1月25日の84万5,625トンより1万0,625トン減の83万5,000トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の2,500.00ドルより5.00ドル安の2,495.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.20%安。この週6.17%の上伸。1月に入って16.05%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2,500.00ドルより5.00ドル安の2,495.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.20%安。この週6.17%の上伸。1月に入って15.94%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月26日入電より横ばいの2,864.00ドル。この週0.03%の下落。1月に入って12.31%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電より横ばいの2,851.00ドル。この週横ばい。1月に入って12.24%の上伸。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月26日入電の2万2,535.00ドルより890.00ドル高の2万3,425.00ドル。3営業日ぶりの反発で3.95%高。この週2.40%の下落。1月に入って11.95%の上伸。3か月物の前場売値は、1月26日入電の2万2,275.00ドルより525.00ドル高の2万2,800.00ドル。3営業日ぶりの反発で2.36%高。この週3.88%の下落。1月に入って9.88%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地1月25日の9万2,688トンより114トン減の9万2,574トン。

LME公示価格(US\$)／1月26日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,965.00	42,800.00	2,366.00	3,645.00	3,093.00	2,495.00	2,864.00	23,425.00
	前営業日比	221.00	1,100.00	7.00	30.00	29.00	▲ 5.00	0.00	890.00
先物	公示価格	9,926.50	42,300.00	2,347.00	3,616.00	3,080.00	2,495.00	2,851.00	22,800.00
	前営業日比	216.50	1,000.00	▲ 3.00	25.00	19.00	▲ 5.00	0.00	525.00

海外非鉄金属相場

(1月27日 入電・現地 1月26日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

Table for NY Comex market (NY コメックス相場) showing prices for Copper, Gold, Silver, Platinum, and Palladium with various contract terms.

Table for LME (円ベース/キログラム) showing prices for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

Table for Free Market (フリー・マーケット) showing US Producer Prices (米国生産者価格) for Silver and NY market prices for Copper.

Table for London Market (ロンドン相場) showing prices for Gold, Antimony, Bismuth, Cadmium, Ingot, Selenium, and various Zinc products.

Table for KLT Market (K L T M 錫) showing prices for Tin in MYR and USD, including exchange rates and local prices.

Table for LME Inventory (LME 在庫) showing current and change in inventory for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

Table for Shanghai Inventory (上海在庫) showing current and change in inventory for Copper, Aluminum, Lead, Zinc, and Nickel.

Table for LME Pre-market (LME プレマーケット) showing prices for Copper, Tin, Lead, Aluminum, and Nickel with first-in-kind prices.

Table for Shanghai Market (上海相場) showing prices for Copper, Aluminum, Zinc, Lead, and Nickel per ton.

Table for Exchange Rates (為替相場) showing rates for LME (円ベース/キログラム), COMEX, and Shanghai, with a note that KLTM prices are not included.

非鉄金属製品相場

(1月27日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◎ 1460	◎ 1395	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◎ 1510	◎ 1445	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	◎ 1590	◎ 1595	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	◎ 1550	◎ 1575	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1460	◎ 1500	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	◎ 1390	◎ 1395	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◎ 1430	◎ 1425	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	◎ 1480	◎ 1465	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	◎ 1410	◎ 1405	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	◎ 1680	◎ 1635	〃 5052板	745	705	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1195	◎ 1170	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	◎ 1225	◎ 1200	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	◎ 1345	◎ 1350	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	◎ 1690	◎ 1630	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 2522~2676
復水器用黄銅管	◎ 1660	◎ 1610	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 3507~3721
黄銅棒快削25ミリ	◎ 995	◎ 1000	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	CVV (関西-関東)
六角棒	◎ 1025	◎ 1030	貴金属(一般小口向け)			3C×2 123-126
四角棒	◎ 1055	◎ 1060	白金(グラム)		◎ 4275	4C×2 164-168
鍛造用	◎ 1035	◎ 1040	パラジウム(グラム)		◎ 9641	6C×2 234-239
ネーバル	◎ 1135	◎ 1140	金(グラム)		◆ 7432	7C×2 267-274
高力	◎ 1135	◎ 1140	銀(キログラム)		◆ 98890	合金鉄 11月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◎ 1400	◎ 1380	レアメタル輸入価格 11月通関 (CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有 195
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1600	◎ 1590	金属ケイ素(99.99%未満)		907	〃 その他 -
黄銅条1.5×100	◎ 1195	◎ 1190	モリブデン酸化物		3174	フェロシリコン55%以上 286
リン青銅板一般用1.0ミリ	2610	2770	タンタル		41311	フェロクロム4%以上炭素含有 191.5
〃 バネ用0.3ミリ	2870	3030	マグネシウム		456	フェロモリブデン純分60%以上 3194
リン青銅棒25ミリ	2710	2890	コバルト		6437	フェロバナジウム 2816
リン青銅線3ミリ	3040	3210	インジウム		26891	フェロニッケル33%未満 504.2
洋白板一般用1.0ミリ	3400	3440				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3520	3560				

減摩合金 1月17日改定

500kg以上、大口価格)	
1種	5520
2種	5340
3種	5155
4種	4510
5種	4345
7種	1400
8種	1180
9種	1020

銅合金地金 1月6日発表

(標準価格)	大阪
BC 1種	1180
2種	1520
3種	1615
6種	1290
7種	1405
YBSC 3種	1040
LBC 3種	1555
PBC 2種	1645



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(1月27日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		40,000 ~ 43,000(1)		
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場			
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値	
1号銅線	◎1054	◎1049	電 気 銅	◎1142	◎1137	◎1144	◎1139	山元建値	電気銅 1190(27)	金 6,718(27)
2号銅線	◎1002	—	電 気 亜 鉛	448	442	448	442	() 実施日	電気鉛 330(26)	銀 88,220(27)
上銅(新切)	◎1031	◎1014	蒸 留 亜 鉛	436	430	436	430		電気亜鉛 466(26)	錫(99.99%) 6,250(26)
雑ナゲット	◎875	◎880	再生ダイカスト亜鉛2種	367	361	367	361			
並銅	◎952	◎947	再生亜鉛(98%)	320	314	320	314			
下銅	◎930	◎920	電 気 鉛	316	311	316	311			
銅削粉	◎932	◎923	再 生 鉛 1 号	292	283	293	288			
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	297	292	298	294			
新切黄銅セバ	◎799	◎801	錫 1 号	5100	5050	5100	5050			
コーベル	◎764	◎759	ア ン チ モ ン	1700	1650	1700	1650			
黄銅棒地	◎746	◎747	ニッケル(メッキ用)	2700	2650	2700	2650			
黄銅削粉	◎740	◎743	コ バ ル ト	9500	9200	9500	9200			
並黄銅	◎669	◎659	セ レ ニ ウ ム	3300	3100	3300	3100			
黄銅ラジエター	◎599	◎579	ビ ス マ ス	1250	1150	1250	1150			
交叉ラジエター	◎619	◎617	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450			
黄銅鑄物	◎674	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580			
山送り(55%)	380	—	アルミ地金99.70%	◎400	◎396	◎402	◎398			
上青銅鑄物	◎822	—	アルミ二次地金99%	307	302	307	302			
並青銅鑄物	◎820	◎818	〃 90%	276	271	276	271			
上青銅鑄物削粉	◎815	—	アルミ二次合金ADC12	456	451	459	454			
並青銅鑄物削粉	◎805	◎806	鑄 物 用 C2BS	481	476	483	478			
新切リン青銅(伸銅)	—	◎1072	青銅合金地金3種	◎1555	◎1545	◎1520	◎1510			
〃 (鑄物)	◎943	—	〃 6種	◎1240	◎1230	◎1240	◎1230			
リン青銅削粉	◎856	◎855	ハ ン ダ 錫 60 %	3720	3680	3740	3710			
新切洋白(電子材)	◎864	◎858	〃 50 %	3200	3150	3220	3190			
新切亜鉛	174	174	〃 40 %	2745	2685	2700	2670			
ダイカストくず	139	139	減 摩 合 金 2 種	5330	5300	5335	5305			
亜鉛ドロス	117	128	〃 4 種	4480	4455	4485	4455			
上鉛	110	108	〃 7 種	1355	1305	1355	1305			
電池素鉛ケース込	20	20	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		125	125			
活字鉛	95	92		〃 ダライ粉		110	110			
新切アルミ1級	220	229		高耐食ステンレスSUS316		220	220			
新切サッシ1級	220	225		耐熱ステンレスSUS310		265	265			
新切合金1級	210	220		13クローム 新切		28	26			
機械鑄物1級	137	135		ハイス 9種		200	200			
ビス付サッシP	156	155								
合金削粉P	100	100								
込ガラP	95	91								
カン・バラ	137	133								



非鉄金属材料相場面
PW:KINZOKU2201